

「責任者」を置く目的、その選定

- ・ イベントがスムーズに進行するように、イベント当日に責任者を置く
- ・ 責任者は上級者又は上級受講者が当たる
- ・ 事前に責任者であることを SCITA センターが該当者(予備を含めて 2 名)に通知する、そのとき当日の活動参加予定者名も通知する(当分はイベント当日の朝に指名することもある)

「責任者」の仕事

(イベント開始前)

- ・ 責任者は、指定したマイスターと共に SCITA センターにて実験用具類の準備をする
- ・ 責任者は、会場担当者と打ち合わせ(水道、電源、机の格納場所、捨ててよいゴミなどの確認)をする
- ・ 責任者の進行により、当日のスライムの種類を確認し、スライムマイスターの自己紹介、各自の活動可能時間の確認をする
- ・ 責任者が指揮して、スライムマイスターは会場および実験用具類の準備をする
 - ① 実験用機の数を決め、実験用機と椅子を配置する
 - ② スライムマイスターは実験衣、防護めがね、ゴム手袋を着用する
 - ③ イベント参加者用の防護めがね、ゴム手袋を実験用机上に置く
 - ④ 実験用具、必要な物品を実験用机上にそろえる
 - ⑤ 薬品類は最後に配付する
- ・ スライムマイスター全員が当日のスライムを試作する
- ・ 責任者は、スライム作成の手順、薬品類の配合量を決め、スライムマイスターそれぞれに確認する

(イベント開始)

- ・ 責任者は、開始後イベントがスムーズに進行するように気を配り、特定の作業に当たらない
- ・ 責任者は、スライムマイスターが休憩・昼食を交代でとれるよう、時間を調整し、指示する
- ・ 責任者が昼食にいくときは、代わりの者を指名し、他のスライムマイスターに周知する

(イベント終了後)

- ・ スライムマイスターは、実験用具を格納し、会場を復元する (ゴミ類の回収をする)
- ・ 責任者は活動報告書を配布し、スライムマイスターが記入後、責任者が回収する
- ・ 責任者の進行により、可能な限り、反省会をする
- ・ 責任者は、会場担当者に終了の報告をし、会場の点検を受ける

(初級者が単独でイベントを開催する場合はこの限りではない。「責任者」相当の任務を確実に果たすこと)

*初級スライムマイスター保持者が上級スライムマイスターに昇級するには、

- 1) 【習熟】 5回以上イベントで活動し、その都度活動実施報告書を提出する
- 2) 【指導】 初級マイスター養成講座において、実験の講師として受講者を指導する(スライム1種類の作りかたの指導でも可)
- 3) 【運営】 3回以上イベントで活動した後、イベントの運営に当たる(「責任者」でも可)
上記項目をすべて満たした後、審査を受ける